

各位

株式会社 地域デザインラボさいたま

空き家対策に取り組む事業者プラットフォーム『アキヤジン』の開設について
～国土交通省 令和5年度「空き家対策モデル事業」採択事業～

りそなグループの地域デザインラボさいたま(以下、ラボたま)は、一般社団法人タガヤス(以下、タガヤス)と連携して、埼玉県内で空き家対策に取り組む団体や事業者の掘り起こしおよびネットワーク構築を行っています。この度、ラボたまとタガヤスの協働運営による、当該事業者等の取り組みを発信する情報発信プラットフォーム『アキヤジン』を開設いたしました。本取り組みは、国土交通省の令和5年度「空き家対策モデル事業」※1採択事業です。

※1: NPOや民間事業者等の創意工夫によるモデル性の高い空き家活用に係る取り組みに対して国が直接支援し、その成果の全国展開を図る事業



『アキヤジン』トップページURL : <https://akiyazine.net/>

➤ 『アキヤジン』とは

『アキヤジン』は「空き家人」そして「空き家 ZINE」を意味します。空き家問題は、全国的な社会問題になっていますが、それぞれの地域が空き家問題を自分事、地域事として捉えて、「自分でできること」、「地域でできること」を行うことが大切です。埼玉県内では、空き家問題に向き合い、その対策を通して、地域の人たちの住環境や地域価値向上に寄与するまちづくり活動が行われています。これからの社会では、このような取り組みが社会的に正しく評価されるべきであり、このような輪を広げていくことが大切だと考えます。

『アキヤジン』の「ZINE」とは、個人が自由に創作する小冊子のことを意味しており、Magazine の「ZINE」が語源とも言われています。空き家人が取り組む地域のキラキラとした取り組みの情報を、あまり形式ばらずに小冊子のようにまとめて地域の皆さま、そして全国の皆さまにお届けする。それが『アキヤジン』です。

➤ 今後の取り組みについて

『アキヤジン』を通じた情報発信により、プロジェクトの認知度向上、ネットワークに参画する事業者のさらなる集積を図り、埼玉県内のまちづくりブランディングを推進していきます。また、行政と連携しながら、埼玉県下における空き家対策の担い手育成を行ってまいります。ラボたまは、プラットフォームの協働運営者として本事業に取り組み、埼玉県内の空き家課題解決に貢献します。

【ラボたまの主な空き家課題解決に関する取り組み】

2023年8月	鶴ヶ島清風高等学校へのカリキュラム提供を通じた空き家対策
2023年9月	<ul style="list-style-type: none">・深谷市における空き家発生抑制に向けた官民連携による取り組み・空き家を滞在拠点とした「観光+新たな働き方」の実現と地域プロモーションの実施・埼玉県における空き家対策に取り組む事業者プラットフォームの構築（本件、アキヤジンにてプラットフォーム参加事業者等の取り組みを発信）
2024年2月	埼玉県空き家対策ソリューションピッチの開催

➤ 一般社団法人タガヤスについて

タガヤスはさいたま市を主な活動拠点とし、不動産業や建設業、調査研究、コンサルティング等の多方面のプレイヤーが集まり、地域の空き家対策やまちづくりに関する活動を行っている団体です。

一般社団法人タガヤス（埼玉県さいたま市大宮区）

代表理事：小澤 理市郎

設立：2023年6月1日 URL：<https://tagayasu.or.jp/>

以上